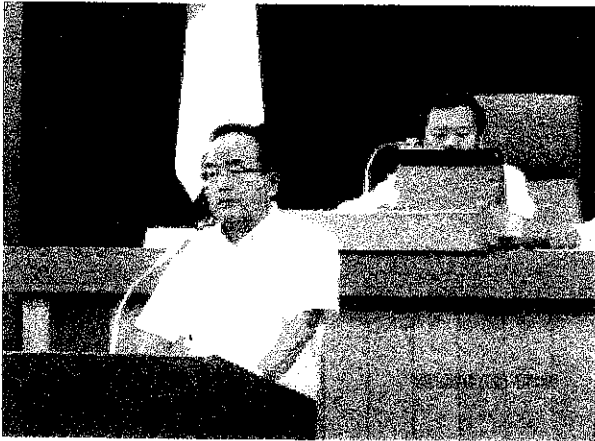




日本共産党
市議会議員団
週刊議会報告
【発行】
岡野長寿
(0845-22-2596)
三浦とおる
(0848-48-5044)

「しまなみ海道料金軽減を！」平成会も要求

—響き合い共鳴する島嶼部の市民の声—



一般質問する岡野長寿議員

日本共産党議員団の質問と平谷市長、佐藤教育長の答弁をお知らせします。なお岡野議員が一貫して取り上げてきた「橋代」の問題を、市議会最大会派（5人）の高本訓司議員が追及し、島嶼部の市民から、「よくやってくれた」と大きな話題になっています。

35人学級の実施

議員 広島県を除く中国地方4県では国の40人学級編成から35人以下学級に改善している。子どもたちの可能性を最大限引き出せるよう、尾道市において35人以下学級編成を実施すべきではないか。

教育長 少人数学級は児童生徒の状況をより丁寧に把握することができ、つまづきに対する指導がより適切にできるなど効果があると考えている。しかし、費用や人材確保の面から、市単

独での実施は難しい。国の定数改善や県の考え方が変われば実施できる。

学校規模が大きくなれば35人を超える学級の割合は高くなる。県に規模や課題に応じて加配要望をし、措置されている。市費による支援教育支援員や学習支援講師などの人的支援に努めている。

本四高速料金

市長 国に対する要望を時期を捉えて実施する。

議員 任期中にやるか。

市長（部長） そうする。

公園にトイレを

議員 三原市と比べて公園にトイレが少ないのは。洋式トイレに改善するなど実施計画をつくるべきでは。

市長 三原市は公園94ヶ所中トイレ68ヶ所（72%）。尾道市は公園80ヶ所中トイレ38ヶ所（48%）。改善計画を検討する考えは今のない。

子どもたちに寄り添う特別支援教育支援員の増員を

—市教委は学校からの増員要望を真摯に受けとめよ—



一般質問する三浦とおる議員

三浦市議は、10月から始まる「幼児教育無償化」の運用についての疑問点と、尾道市における特別支援教育のあり方について、質問をおこないました。

特に、尾道市の小中学校に設置されている特別支援学級の課題について明らかにしていきました。

一般質問でのやりとりは次のようになりました。

議員 現在尾道市の小中学校で医師等の診断を受け、「個別の教育的ニーズ」や「学習面で困難さ」を持つ児童生徒数はどのくらい在籍していますか。また、特別支援学級へ在籍している児童生徒数と特別支援学級の設置数を小中学校別にお答えください。

教育長 市内の小中学校の全児童生徒の中で医師の診断書を受けている児童生徒数は、昨年度、小学校845人、中学校195人在籍しており、そのうち通常学級に在籍している児童は小学校501人、中学校119人で、特別支援学級の設置数は小学校47学級、中学校28学級で編成されている。

議員 「個別の教育的ニーズ」や「様々な場面での困難さ」を持つ児童生徒に対して、「個別のニーズ」や「困難さ」に応じて児童生徒に寄り添ってアドバイスや支援を行なっている「特熱支援教育支援員」が配置をされておられますが、本年度、何人の配置で、学校からの要望人数は何人であったのか。

教育長 今年度の「特別支援教育支援員」の配置は、市費での配置が65人で県費での配置が8人であり、各学校からの要望された人数は120人でありました。

議員 各学校から「支援員」の要望が120人あったとのことですが、なぜ120人配置することができなかったのか。

教育部長 人手不足や予算の面から配置することができなかった。

議員 現在、尾道市の主に小学校における「自閉症・情緒障害特別支援学級」の学級の編成では、1学級の中に1年生から6年生までの3年や4学年にまたがって学級編成が行なわれている学級も多くあると認識しております。一人の教師が3学年から4学年にまたがった学級で「個別の教育的ニーズ」や「困難さ」に応じて指導していることには限界があります。このように3学年から4学年にまたがって編成されている学級数は何学級ありますか。

教育部長 小学校47学級中25学級、中学校では14学級中3学級あります。

議員 このような学級実態がある中で、「特別支援教育支援員」は、一人一人の児童生徒の「困難さ」や「個別のニーズ」に対応していくために、必要不可欠な人材であると考えます。特別支援教育支援員を学校の要望通りに確保しては如何ですか。

教育部長 引き続き検討していきます。また、教育的ニーズに教育の質を高めていきます。

議員 現在、尾道市の主に小学校における「自閉症・情緒障害特別支援学級」の学級の編成では、1学級の中に1年生から6年生までの3年や4学年にまたがって学級編成が行なわれている学級も多くあると認識しております。一人の教師が3学年から4学年にまたがった学級で「個別の教育的ニーズ」や「困難さ」に応じて指導していることには限界があります。このように3学年から4学年にまたがって編成されている学級数は何学級ありますか。

教育部長 小学校47学級中25学級、中学校では14学級中3学級あります。

議員 このような学級実態がある中で、「特別支援教育支援員」は、一人一人の児童生徒の「困難さ」や「個別のニーズ」に対応していくために、必要不可欠な人材であると考えます。特別支援教育支援員を学校の要望通りに確保しては如何ですか。

教育部長 引き続き検討していきます。また、教育的ニーズに教育の質を高めていきます。